

毎年恒例の「薄暮例会」、今回は右京区高雄の『もみぢ家』での開催となりました。全日空ホテルからマイクロバスで出発のため、集合時間は、16時45分、出発は17時といつもより早い時間となりました。

約30分でもみぢ家に到着し、例会開始時間にまだ少し時間があり、現地集合のメンバーを待つ間、例会誌を見たり、故L野村を偲んだり、30周年に向っての打ち合わせなど、短い時間ではありましたが、ちょっとした有意義な雑談の場となりました。

定刻になり、司会幹事L木村の開会宣言の後、会長L井尻の開会ゴングで始まりました。会長L井尻の挨拶では、「昨年の嵐山の薄暮例会では、会長代理として挨拶をし、今年で2回目です。この間に2人のライオンが亡くなりました。非常に残念なことであり、いろんな事あるが、新しいメンバーが入会したりと出会いもあります。想いを繋いでいけるクラブにしたい。」と挨拶がありました。次に幹事L木村がより今回参加のLとご家族の紹介をされ、次いで8月のお誕生日の紹介がされましたが、本日出席で該当のL田村が交通事情のため遅れているので、宴会でのお祝いとなりました。

委員会報告では、CN30周年実行委員会事務局L加藤より「30周年に向って、毎月一回、開催までに10回委員会を開催する予定です。実行委員長に選ばれたメンバーは、よく見ておいてほしい。記念奉仕事業についてやりたいことがあれば報告してもらいたい。実行委員会で相談し、良いければ採用するので、どんどん意見をお願いしたい。」と報告があり、また実行委員長L竹市からも宜しくご協力いただきたいとの挨拶がありました。幹事L木村より地区名簿を全員に購入していただきたいとの報告がありました。(一冊1000円、クラブ負担500円)

会長L井尻の閉会ゴングで例会は閉会となり、宴会場(もみぢ家別館)への移動となりました。



夕闇の中バスを下り、つり橋を渡る～高雄ならではのロケーション。今の季節も良いが、名の通り秋の紅葉では最高なのだろうと思いました。

計画委員長が遅れていたの幹事L木村の司会進行で始まりました。この宴席は会長L井尻の尽力で準備していただいたとの事でした。前会長L加藤の故L野村への献杯で、楽しい会食が始まりました。川床席に次々と宮川町の舞妓さんが訪れ、それぞれに楽しい会話を楽しんだり、舞妓さんの舞を鑑賞することもできました。

会食を終え、20時より狂言「伯母が酒」を鑑賞し終えた後、マイクロバスに乗り21時に京都全日空ホテル着、解散となりました。

記事・写真/PR・IT委員長 L寺村 久司



